

かわぐち 2

支所からのお知らせ

第95号
2018. 2. 20



撮影 地域おこし協力隊 小澤 美紀



2月7日、JR川口プラザで「プラザ de 寄合っこ」が開催されました。

NPOくらしサポート越後川口が、地域住民の交流の場として毎月1回開催しているイベントで、10人が参加しました。

今回は、「バレンタインの時期は甘いものが恋しくなる季節」ということで、3種類のロールケーキをみんなでワイワイ楽しく作りました。

誰でも参加可能なこのイベント。息抜きに参加されてみてはいかがでしょうか。

※ 開催案内は「くらしサポ便り」をご覧ください。

除雪作業は危険がいっぱい。安全対策は万全に！

毎年、屋根の雪下ろしなどの除雪作業中の事故が多発しています。今冬の大雪により、県内ではすでに多くの人が亡くなられたり、怪我をされており、昨冬よりも速いペースで死傷者数が増加しています。除雪作業中の事故は「自分は大丈夫」と油断している時に起きていますので、油断することなく、また、怪我をしないよう注意して除雪作業を行ってください。

- ◆ 除雪機に詰まった雪の除去は、エンジンを止めてから行いましょう。
- ◆ 2人以上で作業しましょう。やむをえず1人の場合は、家族や隣近所に声を掛けてから行いましょう。
- ◆ 作業前には、流雪溝や水路等の危険箇所を確認しましょう。
- ◆ ハシゴはしっかりと固定し、昇降時は特に注意しましょう。
- ◆ 高所作業中は足を滑らせないように注意しましょう。ヘルメットや命綱などの安全対策をしつかりとりましょう。
- ◆ 軒下での作業は、屋根からの落雪に注意しましょう。
- ◆ 無理をせず、こまめに休憩をとりましょう。

○問合せ先 地域振興課

☎ 89・3111

交通災害共済会員募集中

交通災害共済は、万一の事故に備えて、県内全市町村で運営する助け合いの制度です。

- 加入資格
 - ① 新潟県内の市町村に居住し、住民登録をしている人
 - ② ①の人と生計を同じくしている人（県外への単身赴任者や学生などで、①の人と生計を一にしている人は加入できません）、県外で独立して生計を維持している人は加入できません。
- 会費 年額一人500円
- 共済期間 4月1日(日)～平成31年3月31日(日)
- 4月1日から加入するための申込受付期間 2月1日(木)～3月30日(金)

※4月以降のお申し込みは、申込翌日から平成31年3月31日までが共済期間となります。

- 申込先 ①町内会、②金融機関(ゆうちょ銀行は除く)、③市役所
- 見舞金の請求は1年以内に見舞金の請求期限は、交通災害を受けた日から起算して1年以内です。請求漏れがないようご注意ください。

○問合せ先 地域振興課

☎ 89・3111



こころの健康相談会
3月は自殺対策強化月間です

日時 3月15日(木) 午後1時30分～2時
会場 川口公民館
内容 精神科医による個別相談 ※相談は予約制です。秘密は固く守られます。

◆「眠れない」「食欲がない」「何もかもおっくうに感じる」「飲酒量が増えた」そんな状態が2週間以上続いたら「うつ」かもしれません。市民生活課では随時、保健師による電話相談や面談を行っています。こころの問題をひとりですまさないでお気軽にご相談ください。
○問合せ・申込み先 3月9日(金)までに市民生活課へ
☎ 89・3112

灯油流出事故にご注意を

冬はホームタンクからの灯油の流出が多発します。河川に流れ出ると水質汚染の原因となり、処理費用を請求される場合がありますので次の点について十分に注意してください。

- ①ホームタンクからの小分け中は、絶対にその場を離れない。
 - ②タンクのバルブを完全に閉めたか確認する。
 - ③積雪でタンクや配管が破損してないか日常点検する。
- 問合せ先 市民生活課
☎ 89・3112

今冬の降雪大幅増 川口現地豪雪対策本部設置

2月11日からの連続降雪により、2月13日に川口地区が県の災害救助条例の適用となりました。これを受け、豪雪による災害予防と市民生活の安定を図るため、同日付で川口現地豪雪対策本部が設置されました。(2月14日に災害救助法が適用)

支所では、道路・なだれ危険箇所パトロールの強化などを実施しますが、危険箇所などの情報がありましたら地域振興課までご連絡をお願いします。

なお、今後の気象情報に十分注意されるとともに、除雪作業には十分ご注意ください。



2月13日



東川口地区

【問合せ先】 地域振興課 ☎ 89-3111

川口地域バス「黄色いバス」からのお知らせ

黄色いバスをいつもご利用いただきありがとうございます。降雪により、皆さんにご不便をおかけすることもあります。安全運行に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

1. 天候状況により運行に遅れが生じる場合があります。
2. バスが来たら運転手に見えるように手を挙げるなどの合図をお願いします。
3. 運賃は先払い制です。走行中のお支払いは危険ですので、座席につく前にお願いします。



【問合せ先】
NPO法人くらしサポート
越後川口 (JR川口プラザ内)
☎ 81-5200

開催間近! えちごかわぐち雪洞火ほたる祭

日時 2月24日(土) 正午~午後7時30分
 会場 川口運動公園多目的広場
 内容 雪積み合戦、ジャンボ滑り台、宝さがし、うまいもの屋台、ミニ道路パトロールカー乗車・記念撮影、雪上音楽ステージ、ミュージックスターメインなど

詳細はこちら



火ほたる祭

検索



【問合せ先】 えちごかわぐち雪洞火ほたる祭
 実行委員会 (産業建設課内) ☎ 89-3113

【無料シャトルバスを運行します】

バス発着所と祭り会場を巡回するシャトルバスを運行しますのでご利用ください。

発着所: 川口支所、東芝照明プレジジョン、JR川口プラザ
 時間: 午前11時から約15分間隔で運行



子育ての駅
 かわぐち

すこやか

地域の伝言板

地域や団体などからお寄せいただいた情報を提供するコーナーです。

第10回 竹田かんじきウォーク開催

冬のイベントとして人気の「竹田かんじきウォーク」が今年も開催されます。今回は記念すべき10回目。かんじきで歩くから楽しめる冬の景色があります!

日時 3月4日(日) 午前8時30分~午後1時
 会場 竹田集落センター (川口中山1964番地)
 参加費 一般2,000円 小学生1,000円

※保険代、昼食代含む

締切り 3月1日(木)まで 先着20人
 その他 かんじきの無料貸し出しあります。
 暖かく歩きやすい服、長靴でお越しください。

【申込み・問合せ先】 川口きずな館 ☎ 89-3620

行事



- 2日(金)…「おひなさま作り」
- 6日(火)…「赤ちゃん相談日」
- 14日(水)…「妊産婦交流会・ままのまカフェ」
- 20日(火)…「大きくなったね!お祝い会」
- 27日(火)…「3月生まれのお誕生会・発育測定」

☆木曜日は、無料バスを運行しています。

- ★行き→午前10時 東川口保育園発
- ★帰り→午前11時30分 すこやか発

☆アンパンマン教室

- ★毎週金曜日の午前10時15分から11時15分
- ★30日(金)はお休みです(すこやかは通常どおり)

◆「おひなさま作り」

2日(金) 午前10時30分~11時30分

アンパンマン教室の「お楽しみ」の中で、おひなさま作りをします。今年のおひなさまはお子さんの足形を使用します。前日までに足形取りをしたいと思いますので、ぜひ遊びにお越しください。

◆「大きくなったね!お祝い会」

20日(火) 午前10時30分~11時30分

一年間ご利用いただいたことに感謝を込めて、子どもたちの成長をお祝いしたいと思います。ささやかですが、茶話会やお祝いのプレゼントを用意してお待ちしています。みんなで楽しいひと時を過ごしましょう!



▲ 2月1日、2日に開催されたお面作り・豆まき。親子で一緒にお面をつけて鬼を退治しました。おこりんぼ鬼、泣き虫鬼など自分の中の鬼はやつつけられたかな?

【問合せ先】 子育ての駅かわぐちすこやか ☎89-3555

※ 地域活動や各種イベントなどの情報をお寄せください。
 地域振興課 ☎89-3111

3月の行事

6	火	赤ちゃん相談(すこやか) (えちご川口温泉・あぐりの里休館日)
11	日	春よこいこい祭り(あぐりの里)
13	火	(あぐりの里休館日)
15	木	こころの健康相談会(川口公民館) 米百俵号(移動図書館) (すこやか、和南津集会所 牛ヶ島集会所)
18	日	よってげてえふれあい市(よってげ亭前)
19	月	米百俵号(移動図書館) (川口小学校、東川口保育園 西川口保育園、小高集会所)
20	火	(えちご川口温泉・あぐりの里休館日)
27	火	(あぐりの里休館日)

川口地域の人口(H30.21 現在) ※()は前月比			
世帯数	人口	男	女
1,523 世帯 (±0)	4,490 人 (-5)	2,157 人 (-1)	2,333 人 (-4)



～川口地域で活躍する人・団体を紹介します～

よしかつ えり
繁殖和牛農家 阿部吉克さん恵梨さんご夫妻 (東川口)



県内トップの約80頭の繁殖雌牛を飼育されるとともに、恵梨さんは昨年1月に就農したばかりにも関わらず、9月に宮城県で開催された5年に1度の「全国和牛能力共進会(全共)」の和牛審査競技女性の部で本県初の最優秀賞という輝かしい成績も収められています。

☆ 恵梨さんは、就農してからまだ1年ということですが、昨年は競技会で日本一にもなられました。ご自身での1年間を振り返ってみていかがですか？

恵梨さん：夫が家業を継いだことがきっかけで、昨年1月にそれまで勤めていた介護の仕事を辞めて就農したのですが、本当にあつという間の1年間でした。最初は一頭一頭の顔の違いもわからず体調の変化にも気付くことができませんでした。競技会には、今後の勉強のためと思って出場し、JA全農にいがたの方が講師を務める勉強会などに参加して、目利きのカヤ知識を身に付けました。まさか最優秀賞をとれるとは思っていませんでした。自分自身とても驚きました。今振り返ってみると、とても勉強になったし、良い刺激にもなったので出場して良かったと思います。

☆ 家業はどれくらい前から続いているのですか？

吉克さん：祖父の代からなので、自分で3代目です。もともとは酪農を中心に行っていたのですが、30年位前から繁殖牛を導入しました。中越大震災の時には、牛舎が甚大な被害を受け、南魚沼市に牛を避難させていたのですが、一昨年の12月ようやく川口地域に戻ってくることができました。

☆ 生き物を相手にされているのでご苦労も多いかと思えます。これまでどんなことが大変でしたか？

恵梨さん：特に子牛はとてもデリケートなので、外部から菌が入らないようにとても気を遣いますし、昼夜問わず体調の変化が気になります。脱水や肺炎などを起こし、時に命を落とすこともあるので、いち早く病気や怪我に気づいてあげることがとても大事なのですが、これまでやってきた介護の仕事も役に立っているんですよ！

☆ どんな1日を過ごされているのでしょうか？

吉克さん：朝の4時30分頃の餌やりから1日がスタートして、決まった時間に子牛へミルクをあげたり、堆肥の片づけ、床替えなどの作業などをして、普段は夕方6時頃帰宅します。お産は多い時には1日に3頭なんてこともあるのですが、そういう時には当然付きっきりで目が離せません。

☆ どんな時にやりがいや喜びを感じますか？

吉克さん：無事に市場に出荷できた時がやっぱり嬉しいですね。特に体調を崩さず無事に出荷できた時には何とも言えない喜びを感じます。

☆ 今後の抱負や川口のみなさんに一言お願いします

吉克さん：川口地域にもこのようなことをしている農家があるということを知ってもらえて、声をかけてもらえるとうれしいです。これからもより質の高い牛作りを目指して頑張っていきたいと思っています。

恵梨さん：夫の手伝いをしながら、家業を維持して次世代へつなげていけたらいいなと思っています。

二人：これからもどうぞよろしくお願いします！

厄除けと招福を願い鬼の狂言

[宝積寺]

2月3日

節分の伝統行事である「鬼の狂言」が宝積寺で行われました。赤鬼と青鬼が登場すると、親にしがみつき泣き出す小さな子どももいましたが、時事ネタを織り交ぜてのユーモラスな鬼の話や仕草に会場は大盛り上がり。

狂言後の豆まきでは、お菓子や景品の当たる番号札などもまかれ、子どもたちは大はしゃぎで楽しみました。



堀澤昇司さん(東川口)撮影